

「本物はここにある」埋蔵文化財を活用した授業づくり～教職員研修講座～

埋蔵文化財センター

授業で使える「本物の埋蔵文化財」

皆さんは日々の授業の中で、「地域の素材をもとに、授業を作り上げたい」「文章や写真だけでなく、手にとって触れる教材があったらいいな」「児童生徒が夢中になって盛り上がる授業がしたい」と思われることはありませんか。

そんな悩みに応えるべく、埋蔵文化財センターでは、夏休み期間中に以下の講座を実施しました。

○ 体験・体感・縄文の森

【パワーアップ（10年経験者）研修講座】

○ 先生のための考古学講座

【希望者対象・フレッシュ研修対応】

どちらの講座も、埋蔵文化財センターの業務と役割を紹介し、報告書作成のための整理作業を体験したり、県内の歴史と埋蔵文化財の特徴を学んだりすることで、児童・生徒の指導に活かすことができる講座となっています。また、土器や勾玉作りなどの体験活動もあります。その講座の内容を一部紹介します。

土器本来の姿が見えてくる？～接合体験～

遺跡の発掘調査では、土器のほとんどがバラバラに割れた破片の状態で見つかります。それらを集めて、元の形につなぎ合わせる作業を「接合」といいます。簡単な作業のようですが、似たような破片が山ほどあり、簡単には接合できません。

しかし、割れ口がピタリと合ったときは、感動します。参加者からは、「おお！ やったあ。」と喜びの声があがっていました。



【どの破片がつくだろうか？ 接合体験】

みんなで作り上げる授業～グループ討議～

パワーアップ研修では、専門教科や学校種の異なる参加者が一緒に受講します。

グループ討議では、参加者が埋蔵文化財を活用した学習授業案を作り、意見交換の場を設けました。「遺跡を紹介するパンフレットを作ろう」「学校内に竪穴住居を復元してみよう」など、様々なアイデアが出され、討議が盛り上がりました。



【楽しい授業を考えよう～グループ討議～】

鹿児島県の歴史と文化を再発見

～上野原縄文の森の見学～

上野原遺跡から出土した縄文時代の土器や石器、実際の住居跡などを見学し、当時の人々の生活の様子を確かめることができました。



【発掘当時の様子を残す遺跡保存館の見学】

授業で本物の土器や石器を教材に！

これらの講座のほかに、本物の土器や石器を学校に貸し出す「まいぶんキット貸出事業」もあります。活用を希望される学校は、当センターまでお問い合わせください。